事例No.	1304
公表年度	R1
団体の属性	町村
団体名	島根県邑南町

事例区分	地域活性化

タグ	・関係人口 ・公共施設活用 ・移住定住

事例種類	関係人口

事例内容・タイトル

おおなんDIY木の学校プロジェクト～関係人口との場づくり、ひとづくり、まちづくり～

出典

関係人口創出・拡大事業（裾野拡大型・裾野拡大（外国人）型）成果報告会

1.地域概要・地域課題・事業に取り組む背景

●地域の概要

島根県邑南町 羽須美地域 とは

人口1419人。中国山地の中央部、
広島県北部との県境に位置する自然豊かな地域。





かつてはたたら製鉄など森林資源を生かし
中国地方最大の河川「江の川」の港町として栄えたが
高度経済成長期以降、人口流出が急速に進展

▼

人口減少の最先端

人口
1947年 → 2019年
80%減

高齢化率
57%

JR三江線
廃線
（2018年）

●解決したい地域課題

①急増する空き家

空き家
500軒（推定）：**居住世帯**
700世帯

②住居提供の仕組み

移住希望者が増加する中
提供可能な空き家は限定的

老朽化に伴う
改修資金の負担

●本事業に取り組むに至った背景

①邑南町木のまちづくりの推進
「田舎リノベスクール」を通じたDIY人材のネットワークづくり

②関係人口創出の取組み（H30関係人口創出事業）
廃線後の駅舎活用や地元イベント運営に100名を超える
関係人口が関与

③受入拠点の整備
空き家となっていた地域の病院を
新たな交流拠点として再生する
住民主体の活動が発足



2. 事業概要

●事業概要

実際の空き家を教室とした実践講座
「おおなんDIY木の学校」を創設

木の知識と木材加工を学ぶ
共通科目

選べる６つの
専門科目

▼

DIYの技能習得とともに
地域課題解決への貢献機会を提供

実習のフィールド

旧 服部医院

築95年の病院をゲストハウスとして
再生するプロジェクトが発足。
クラウドファンディングにより
約300万円の改修資金を確保。



●地域の理想の姿

地域外の人材の力を
地域の課題解決の推進力として取り込み
住民が誇りを持って暮らすことができる
持続可能な地域を実現



●理想を実現するための本年度事業の位置づけ



空き家再生の仕組みづくり

空き家問題
の解消
×
関係人口の
受入機能整備



●本年度の目標

①都市部での説明会参加者：各20名

②現地ツアー及び講座参加者：のべ50名

③講座・ワークショップの住民参加：のべ30名

④講座プログラムの創設

⑤DIYリノベーションによる交流拠点の開設

⑥DIY基地への登録者：5名

3.事業実施体制・スケジュール

●事業実施体制（受け入れ体制を含む）

● 事業実施体制

事業主催
邑南町

地元運営団体
受入調整支援：NPO江の川鐵道
講師：地元大工ほか

▶ おおなんDIY木の学校 Ohnan DIY School ◀

外部協力団体
カリキュラム構築：(一社)住環境デザイン協会
SNS運用：(株)エネルギア・コミュニケーションズ
アドバイザー：(株)MYTURN
広報・効果検証：(株)エブリプラン

運営事務局
NPOはすみ振興会
（講座の申込受付、運営、受入調整）

●スケジュール

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
1．全体企画	●●●●●●●●●								
2．説明会の開催		●●●●●●●●●●●							
3．スタディツアーの運営			●●●●●●●●●●●●●						
4．「おおなんDIY木の学校」の運営			●●●●●●●●●●●●●●●●●●●						
5．SNSの運用			●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●						
6．空き家改修ワークショップの開催					●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●				
7．効果検証			●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●						

4.事業の「ターゲット」

●事業のターゲット

DIYが「好き」で「地域課題解決」に関心を有する都市部の若者（20～40代）

暮らしを手づくりしたい

自分らしい空間づくりがしたい

地域の思いを応援したい

DIYへの関心の高まり

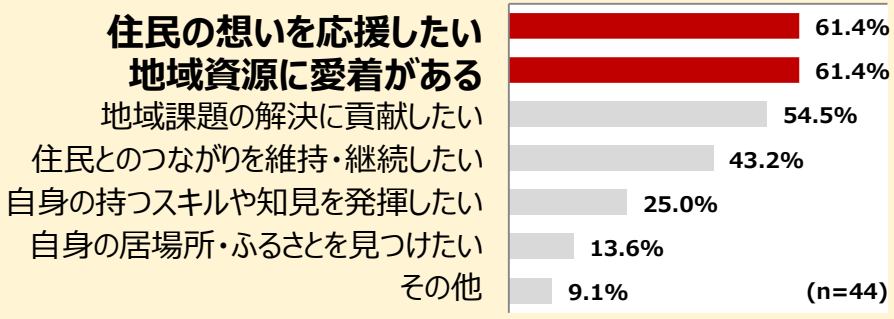
地域への貢献意欲

●参加者募集のターゲットの設定経緯

地域の思いへの共感が再訪動機に

H30年度 参加者アンケート調査より

Q あなたが羽須美地域に関わる動機は？



●ターゲットへの広報・アプローチ

- **都市部での説明会開催（東京・広島・松江）**

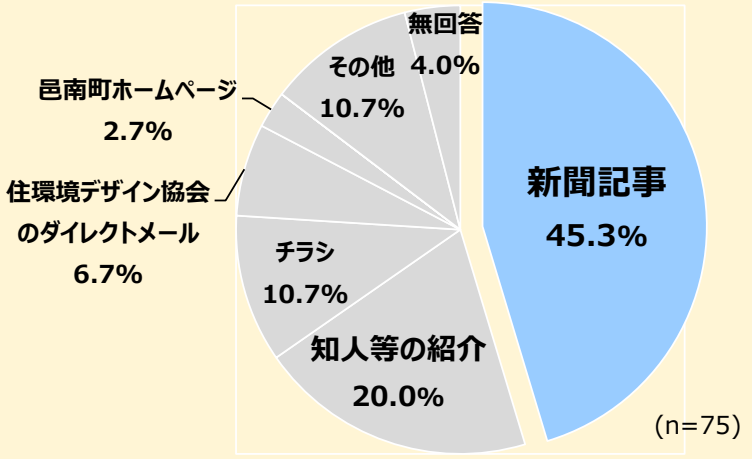


東京会場　17名
広島会場　31名
松江会場　18名

- **報道関係者へのプレスリリース**
- 「DIYリフォームアドバイザー」有資格者へのDM
- DIY資材店でのチラシ掲示
- 個別の声掛け　等

新聞記事による認知が半数近く

（受講者アンケートより）



5.関係人口の活動内容

●参加者（関係人口）が取り組んだ活動の内容

地域の課題をめぐるスタディツアー

参加者30名中
11名が
木の学校を受講

- 地域課題への理解促進を図るため、邑南町内の魅力を発信するとともに、空き家問題の現状や再生の事例を見学・体験。
- 参加費1000円。日帰り。



DIY実践講座「おおなんDIY木の学校」

受講者89名中
35名が
ワークショップに参加

- DIYの技能習得とともに、地域住民や受講者同士の仲間づくりの機会とし、空き家再生の仕組みづくりを試行。
- 7科目12日程。各1泊2日、参加費2万円。



空き家改修ワークショップ

主体的な関与

- 「おおなんDIY木の学校」で学んだスキルを活かし、旧服部医院の再生に協力。受講者限定、参加費無料。



自主的・継続的な関与

- 自主的に地域を訪問し、地域に関与。
  - ✓ 二拠点居住開始（2名）
  - ✓ 地域イベント運営へのボランティア参加（2名）
  - ✓ 任意グループ「塗装部」による活動　など

6.活動の成果

●本年度の目標達成状況

目標	達成状況
①都市部での説明会参加 各20名	東京：17名 広島：31名 松江：18名 **平均22名/回 （達成率110%）**
②ケーススタディツアー及び講座への参加：のべ50名	**のべ117名 （達成率234%）**
③講座・ワークショップへの 地元住民参加：のべ30名	のべ18名（達成率60%）
④講座カリキュラムの構築	共通1科目、専門6科目の カリキュラムを構築
⑤DIYリノベーションによる 新たな交流拠点の開設	2020年4月オープンを目指して 開設準備中

●関係人口の地域との関わり方

受講者の約４割が地域を再訪

「おおなんDIY木の学校」の受講
のべ117名（実質89名）

▼

空き家改修ワークショップの参加
35名

▼

継続的な関与
（二拠点居住、地域イベントの運営等）

●その他の成果

「受講者」を「関係人口」へと導くプロセス

地域住民の思いの発信や交流・対話の機会が重要

DIYへの関心 ▶ おおなんDIY木の学校 **地域の思いへの共感** ▶ 地域への継続的な関与

住民による思いの発信

7.課題への対応

●事業で直面した課題とその対応策･解決方法

SNSを活用したコミュニティ育成

受講者同士のコミュニケーションツールとして、「サークルスクエア」を運用したものの
サークルスクエア上で参加者同士が情報発信や交流を行うことはなかった。
一方、講座終了後は、参加者同士でLINEを交換し、個別に連絡を取り合う状況が見られた。

▼

より一般的なSNSツールを活用し講座終了時に登録を促すことで

参加者同士の交流基盤を整備

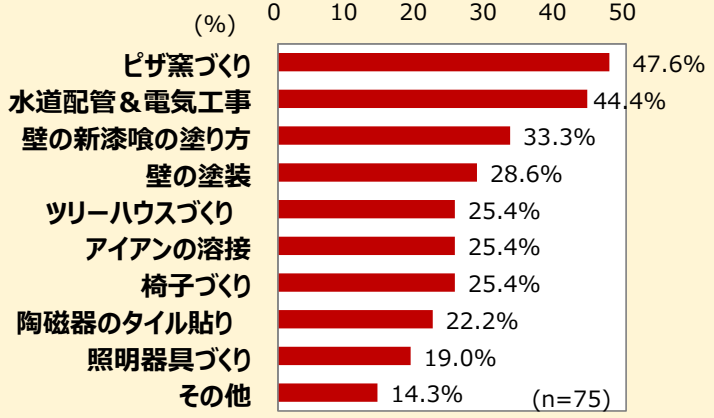
●今後の課題と対応方針

R2年度以降　地元団体による自主運営へ

✓ **課題**

- カリキュラムの充実
- 空き家所有者と利用者のマッチングの仕組みづくり
- 空き家再生の技術者育成

あったら参加したい専門科目の分野（受講者アンケートより）



8.将来への展望

●来年度以降の関係人口とのかかわり方

地域のニーズ発信やコミュニケーションを継続し、地域への愛着醸成を促す

- **改修後の旧服部医院の利用**
- **計画中の新たな空き家改修プロジェクトへの巻き込み**
- **空き家以外の地域課題への巻き込み**

●「関係人口」施策の展望

羽須美地域の関係人口モデルの全町展開へ

邑南町観光ビジョン（策定中）

持続型・生産型の新しい観光の推進に向けて

- 関係人口の取り込みを成果指標の一つに掲げる。
- 地域の「課題解決」と都市部人材の「好き」を結び合わせる**「おおなんDIY木の学校」をモデル化し、関係人口の取組みの全町展開を目指す。**

